

町の農産物を活用した藤崎ファンづくり事業



事業総額 250,140円 事業対象経費 250,140円 補助金額 250,000円

補助金利用内訳：消耗品費、備品購入費等に使用

事業の目的

藤崎町の特産品であるりんごやトマトを活用した商品を試作・開発し、町の農業の6次産業化に寄与することで交流人口の増加を図り、藤崎町のファンを増やすことを目的とする。

事業報告**【内容】**

- ・レシピ構想開発
- ・事業計画の策定
- ・ノンアルコール蒸留酒、フレーバーシロップ試作品の製造
- ・マーケティング調査の実施
- ・レシピ完成
- ・試作品試飲会の実施

【効果】

- ・地域人材の育成として、弘前大学に通う2名の大学生をメンバーとして招き入れ、世代や立場を超えた共創活動となった。
- ・地域外の方との共創活動から、県外の視点によって新たな地域の魅力の発見につながった。マーケティングや財務会計の専門分野に関わる方との活動により、事業づくりのノウハウを学びや、都心部で働く方の座視・視野、視点を知る機会となり、地域づくりの意識向上につながった。
- ・新型コロナウイルス感染症禍において、消費者と原料農家の直接交流は行っていないが、製品開発の蒸留方法に関する情報収集過程において、沖縄県でお酒を製造している企業の方や、香りの研究をされている産業技術センターの方と交流することができた。試飲会イベントに全11名の参加を得ることができた。

課題等

- ・外部へ向けた試飲会の開催に関する課題については、清涼飲料水の製造認可に伴う検査、季節性が高い原材料の確保と期間内の加工、検査基準を満たすための加工設備の準備等がある。
- ・農家と消費者がつながる商品開発および商品販売のプロセスの構築が課題。

◆ここがポイント!

町の特産品を使用した商品開発を通じて、様々な方との交流が広がっている点がポイントです。町外の方々と交流を深め、情報を共有しながら開発を継続して行い、藤崎町オリジナルの商品が出来上がることを期待しています。